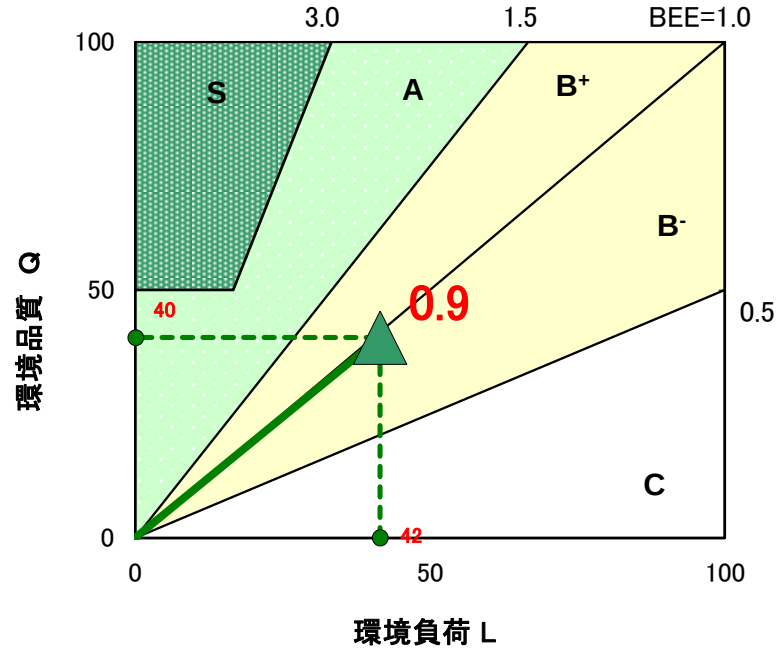


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	古荘本店29年館新築工事	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市中央区古川町13番・船	構造	S造	
用途地域	商業地域	平均居住人員	60 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年10月21日	
敷地面積	4,173 m ²	作成者	蔵原佳代子	
建築面積	745 m ²	確認日	2016年10月21日	
延床面積	2,854 m ²	確認者	伊東 正太郎	

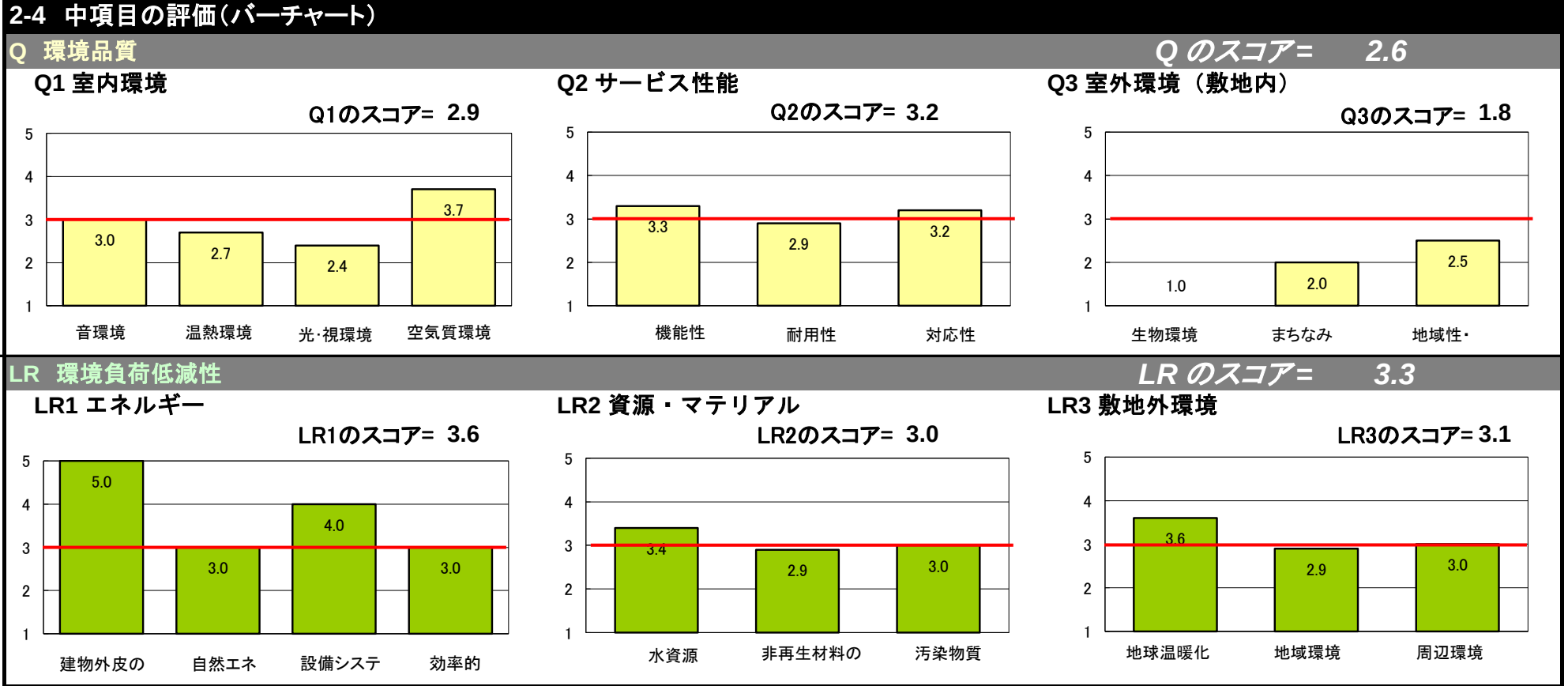
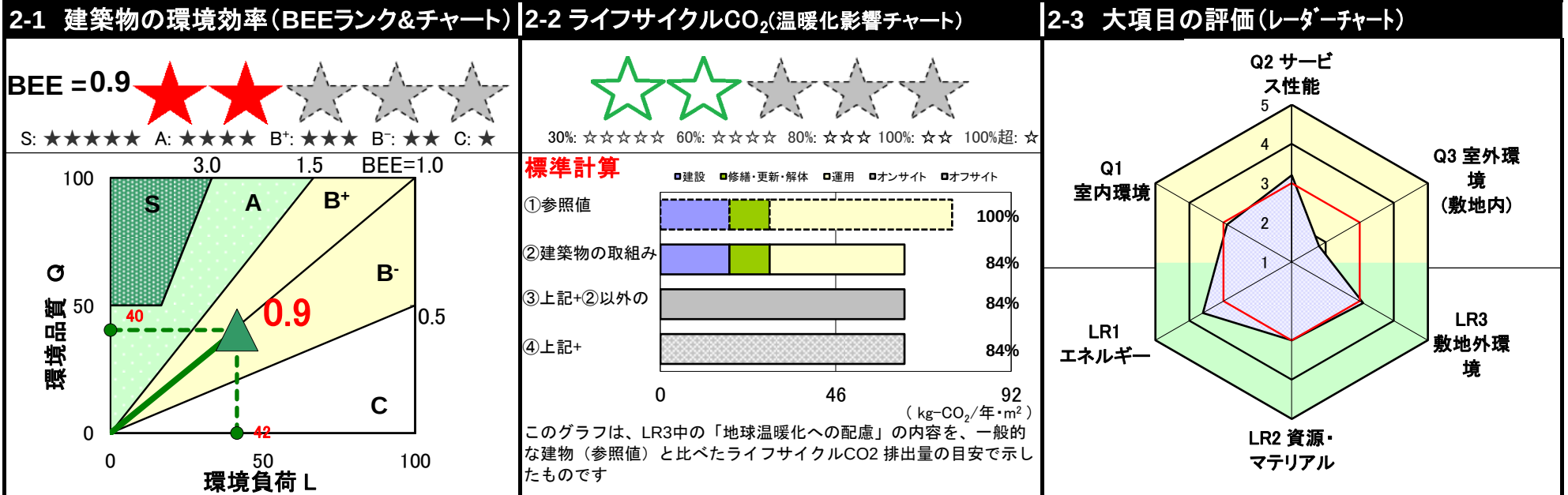
1 CASBEE評価結果																																					
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																					
			BEE = 0.9		■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																
			■環境効率評価基準																																		
			<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																		
			BEE値	Q値																																	
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																	
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																	
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																	
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																	
C	★	劣る	0.5未満	—																																	
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																		
			<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																				
30%以下	☆☆☆☆☆																																				
30%超60%以下	☆☆☆☆																																				
60%超80%以下	☆☆☆																																				
80%超100%以下	☆☆																																				
100%超	☆																																				
			排出率																																		
			84%																																		

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				72
		評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		73.1	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		67.5	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		77.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		70.5	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	古荘本店29年館新築工事	階数		
建設地	熊本県熊本市中央区古川町13番・船	構造		
用途地域	商業地域	平均居住人員		
気候区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階		
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日		
敷地面積	4,173 m ²	作成者		
建築面積	745 m ²	確認日	2016年10月21日	
延床面積	2,854 m ²	確認者		
			伊東 正太郎	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）

■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 古荘本店29年館新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)		
スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						2.6	
Q1 室内環境			0.33		-	2.9	
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 騒音		-	-	-	-		
1.2 遮音		3.0	1.00	-	-		
1 2 開口部遮音性能		3.0	1.00	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-		
1.3 吸音		-	-	-	-		
2 温熱環境		2.7	0.35	-	-	2.7	
2.1 室温制御		2.5	0.50	-	-		
1 室温		3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		1.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		2.4	0.25	-	-	2.4	
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-		
1 昼光率		-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-		
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		1.0	1.00	-	-		
3.3 照度		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	【事務所】F☆☆☆☆の積極的な採用	4.0	1.00	-	-		
2 アスベスト対策		-	-	-	-		
4.2 換気		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		3.0	0.50	-	-		
2 自然換気性能		-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-		
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御	【事務所】建物全体が禁煙	5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性		3.3	0.40	-	-	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.57	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	【事務所】やさまち条例事前協議済み	4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-		
1 広さ感・景観		-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		-	-	-	-		
1.3 維持管理		2.5	0.43	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9	
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	【工・事】B以上を使用、Eは不使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		

	2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.2	0.30	-	-	3.2
	3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	【工場】比率:0.16 【物販】比率:0.16	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	【工・事】構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	【工・事】構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.37	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		【工・事】高効率空調設備の採用		5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.12	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.74 住宅(専有部) —	4.0	0.59	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		【工・事】LED照明、高効率空調設備の採用	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.24	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	【工・事】節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		【工・事】GL工法、LGS下地	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		【工・事】省エネ設備の導入		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止		【工・事】燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・既存建物との調和を取るよう努めた

Q1 室内環境

- ・F☆☆☆☆建材の積極的採用
- ・全館禁煙とする

Q2 サービス性能

- ・外壁仕上材の補修必要間隔の長いものを採用
- ・主用設備機器配管の更新必要間隔の長いものを採用

Q3 室外環境（敷地内）

- ・周辺景観との調和を取るよう配慮した
- ・防犯性の配慮

LR1 エネルギー

- ・限りあるエネルギーを有効に使用するために高効率機器の採用に努めた

LR2 資源・マテリアル

- ・資源の節約に配慮し節水型機器を採用した

LR3 敷地外環境

- ・道路に面する敷地部分には、周辺環境に配慮し磁気タイル敷きとした

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 古荘本店29年館新築工事

■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル：CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		72
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目（配慮項目）		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				73.1	0.40	29.24
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.09			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.09			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.09			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.04			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				70.5	0.20	14.10
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数